

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-256162

(P2000-256162A)

(43) 公開日 平成12年9月19日 (2000. 9. 19)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
A 6 1 K 7/48		A 6 1 K 7/48	4 C 0 8 3
7/00		7/00	B
			J
			U

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平11-56689

(22) 出願日 平成11年3月4日 (1999. 3. 4)

(71) 出願人 000113470

ポーラ化成工業株式会社

静岡県静岡市弥生町6番48号

(72) 発明者 佐藤 範雄

神奈川県横浜市神奈川区高島台27番地1

ポーラ横浜研究所内

Fターム(参考) 4C083 AA112 AB172 AB221 AB222

AB371 AB382 AB431 AB432

AB441 AB442 AC072 AC102

AC122 AC402 AC421 AC422

AC442 AC482 AD352 CC07

DD12 EE12

(54) 【発明の名称】 シート状バック

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 過剰皮脂除去作用と閉塞性による有効成分吸収促進作用を損なわずに、肌からの剥離・水洗性を向上させた新規機能を有するシート状バックを提供する。

【解決手段】 無水珪酸、タルク、ベントナイト、含硫珪酸アルミニウム及びカオリンから選ばれる1種乃至2種である珪酸塩1～50重量%を含有することを特徴とする、シート状バック用のマトリックスを支持体に塗工し貼付剤とする。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 珪酸塩1～50重量%を含有することを特徴とする、シート状パック用のマトリックス。

【請求項2】 珪酸塩が無水珪酸、タルク、ベントナイト、含硫珪酸アルミニウム及びカオリンから選ばれる1種乃至は2種以上であることを特徴とする、請求項1に記載のマトリックス。

【請求項3】 アクリル酸系ポリマーを含有しないことを特徴とする、請求項1又は2に記載のマトリックス。

【請求項4】 更に、ポリオキシエチレンヤシ油脂脂肪酸グリセリンを含有することを特徴とする、請求項1～3の何れか一項に記載のマトリックス。

【請求項5】 請求項1～4の何れか一項に記載のマトリックスを支持体上に塗工してなるシート状パック。

【請求項6】 支持体が不織布であることを特徴とする、請求項5に記載のシート状パック。

【請求項7】 全顔用であることを特徴とする、請求項5又は6に記載のシート状パック。

【請求項8】 皮脂除去作用を有することを特徴とする、請求項5～7の何れか一項に記載のシート状パック。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、パック料に好適な化粧料に関する。

【0002】

【従来の技術】パック化粧料は、泥状、粘性半流体、泡状の化粧料組成物を皮膚に塗布し、この閉塞性を利用して有効成分の吸収を促進したり、過剰な皮脂などを除去したりする目的で、この様な処置の必要性が極めて高くなったときに用いられる。これは、パックの機能は確かに優れるものの、そのパック動作は決して、気軽にた易くできるものではないからである。この取り扱い動作を改善したものにシート状パックがあり、シート状パック料は、化粧水などを含浸させた不織布などの支持体を顔に貼り付け、有用な成分を経皮吸収させる含浸タイプや、不織布などの支持体上に粘着性高分子ポリマーを塗工し、過剰な皮脂や角栓等を高分子ポリマーで固着・除去したりする角栓除去タイプのものが既に知られている。しかしながら、この様な機能は、パックの機能の極一部であり、他の機能を有するシート状パックは知られておらず、かかるパック機能の簡便化は図られていないのが現状である。これは、剤形的な可能性の制限によるものが多く、例えば、ピールオフタイプのパックをシート状に加工しても、その粘着力と経皮吸収性の促進作用等のバランスを取ることは難しいし、泡状パックのシート化は泡の維持が困難であるし、泥状パックはシート状に加工しても、皮膚への延展時の手指の汚れは予防できても、パック剥離・水洗後、泥が残存し易く、結局手間は変わらないためにそのメリットは少ないと信じられて

いた。それ故、この様なシート状パック剤形はまだ開発されていなかった。

【0003】一方、シート状パックに於いて、珪酸塩1～50重量%を含有するものは、まだ知られておらず、従って、この様なシート状パックが優れた新規機能を有することも全く知られていなかった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、この様な状況下でなされたものであり、新規機能を有するシート状パックを提供することを課題とする。

【0005】

【課題の解決手段】この様な状況に鑑み、本発明者らは、新規機能を有するシート状パックを求めて鋭意研究努力を重ねた結果、珪酸塩1～50重量%を含有することを特徴とする、シート状パック用のマトリックスを不織布などの支持体上に塗工したシート状パックが、泥状パックの過剰皮脂除去作用と閉塞性による有効成分吸収促進作用を兼ね備えた特性を有しているにも関わらず、その剥離・水洗性に優れ、シート状パックを剥離・水洗した後も殆どマトリックス残存しないことを見出し、発明を完成させるに至った。以下、本発明について、実施の形態を中心に詳細に説明を加える。

【0006】

【発明に実施の形態】(1)本発明のシート状パック用のマトリックス

本発明のシート状パック用のマトリックスは珪酸塩1～50重量%、更に好ましくは5～25重量%を含有することを特徴とする。これは、珪酸塩をこの配合範囲に制御することにより、泥パックの有している、過剰皮脂除去作用と閉塞性による有効成分吸収促進作用を損なわずに、肌からの剥離・水洗性を向上させ、シート状パックを剥離・水洗しても、パックのマトリックスが肌上に残存しないように出来るからである。即ち、この量より少ないと、閉塞性や皮脂吸収性が発揮できない場合があり、この量を超すと肌残存率が多くなり、シート状に加工したメリットが現れない場合があるからである。ここで、本発明で言う珪酸塩とは、水不溶性の珪酸塩であって化粧料などの分野で使用されるものを意味し、例えば、タルク、カオリン、雲母、ベントナイト、珪酸マグネシウム、珪酸カルシウム、無水珪酸、珪酸アルミニウム、含硫珪酸アルミニウムなどが例示でき、これらの中では、無水珪酸、タルク、ベントナイト、含硫珪酸アルミニウム及びカオリンから選ばれる1種乃至は2種以上であることが好ましく、含硫珪酸アルミニウムを含有することが更に好ましい。この含硫珪酸アルミニウムとしては、海草由来の海泥化石を乾燥・粉碎したものが好ましく、「ミロネクトン」の商品名で大日本化成株式会社より市販されているものが市販品の中では好ましい。このものの含硫率は約1%である。これら珪酸塩はどれも化粧料の汎用原料であり、その入手に問題はない。

【0007】本発明のマトリックスに於いては、上記必須成分である珪酸塩以外に、化粧品で通常使用されている任意成分を、本発明の効果を損なわない範囲に於いて、含有することが出来る。かかる任意成分としては、例えば、ワセリンやマイクロクリスタリンワックス等のような炭化水素類、ホホバ油やゲイロウ等のエステル類、牛脂、オリーブ油等のトリグリセライド類、セタノール、オレイルアルコール等の高級アルコール類、ステアリン酸、オレイン酸等の脂肪酸、グリセリンや1, 3-ブタンジオール等の多価アルコール類、非イオン界面活性剤、アニオン界面活性剤、カチオン界面活性剤、両性界面活性剤、エタノール、カーボボール等の増粘剤、防腐剤、紫外線吸収剤、抗酸化剤、色素、粉体類等が例示できる。この中では、皮脂の除去性とマトリックスの剥離・水洗性を向上させる理由から、ポリオキシエチレンヤシ油脂脂肪酸グリセリンを含有することが好ましい。このもののポリオキシエチレンの付加モル数としては、5～10が好ましく、このもの含有量としては、0.1～3重量%が好ましい。これはこの範囲のものが、皮脂の除去性とマトリックスの剥離・水洗性に特に好ましい作用を発揮するからである。又、バックの製剤的特徴から、ビタミン類、美白剤、細胞賦活剤、美肌成分などの有効成分も含有でき、この様な有効成分を含有することが好ましい。本発明のマトリックスの特徴が珪酸塩を含有することから、有効成分としては、この様な成分と調和して効果を発揮する有効成分が好ましく、例えば、ハマメリスエキス、ホップエキス、オトギリソウエキス（ヨハニススクロイターエキス）等の各種ハーブエキスや海草エキスが好ましく例示できる。又、通常バック料に於いては、ポリアクリル酸ナトリウム、ポリメタクリル酸ナトリウム、アクリル酸・メタクリル酸アルキルコポリマー及び／又はその塩等のアクリル酸系ポリマーは、マトリックスの残存率を上げることが多いので含有しないことが特に好ましい。更に、通常のオイル類も含有しない方が好ましい。本発明のマトリックスは、この様な成分を常法に従って処理することにより製造できる。

【0008】（2）本発明のバック料

本発明のバック料は、上記シート状バック用のマトリックスを支持体上に塗工したシート状バックであることを特徴とする。本発明のバック料で使用できる支持体としては、シート状バック料で使用されているものであれば特段の限定なく使用することが出来、例えば、リント

イ

1, 3-ブタンジオール
キサンテンガム
エタノール
パラベン
ハマメリスエキス
海草エキス
ホップエキス

15 重量部
0.3 重量部
0.8 重量部
0.1 重量部
1 重量部
0.1 重量部
0.1 重量部

布、リネン、木綿などの布類、ポリエチレンテレフタレートシートや塩化ビニルシート等のポリマーシート、不織布などが例示できる。これらの中では、マトリックス配向性の点で不織布が特に好ましい。即ち、マトリックスが支持体である不織布と親和性が高いため、顔にシート状バックを貼付して剥離・水洗しても、顔の方にマトリックスが残りにくいからである。マトリックスの支持体上への塗工手段は、通常知られている方法に従って行えば良く、例えば、支持体上へドクターブレード等を使用して塗工することが例示できる。この時、好ましい塗工厚は0.1～100ミルである。更に、本発明のシート状バックとしては、顔の一部に貼付する部分貼付型のものも、顔全面に貼付するものも利用できる、このうち、特に好ましいものは顔全面に貼付するタイプのものである。これは、本発明のバックの効果に有効成分の吸収促進が含まれており、この様な効果は、顔の全面に好適な効果であるためである。

【0009】

【実施例】以下に、実施例を示して本発明について更に詳細に説明を加えるが、本発明が、これら実施例にのみ限定を受けないことは言うまでもない。

【0010】＜実施例1～8＞下記に示す処方に従って、化粧品を作成した。即ち、イ、ロをそれぞれ80℃に加熱し、イにハをディスパーで分散し、これらに徐々にロを加え、攪拌冷却し、泥状の本発明のマトリックスを得た。これを顔型の不織布上に10ミルの厚さにドクターブレードで塗工し、剥離紙を裏打ちし、アルミラミネートの包装に密封し、本発明の顔全面用のシート状バックを得た。この本発明のバックを用いて、専門パネラーにより、剥離・水洗性（顔への残存量の少なさ）と過剰な皮脂の除去性を、++：非常によい、+：良い、±：やや良い、-：悪いの基準で判定した。比較例1として、実施例1のカオリンを酸化亜鉛に置換したもの、比較例2として、実施例1のカオリンを二酸化チタンに置換したものを、比較例3として、実施例1のカオリンを結晶セルロースに置換したものを作成し同様に評価した。結果を表1に示す。これより、本発明のシート状バックが前述の如く優れた作用を有していること、及びこの作用が珪酸塩に由来すること、珪酸塩としては無水珪酸、タルク、ベントナイト、含硫珪酸アルミニウム及びカオリンが好ましいことがわかる。

オトギリソウエキス	0.1重量部
水	57.5重量部
ロ	
セタノール	5.5重量部
ポリオキシエチレン（20）セスキオレート	0.9重量部
ポリオキシエチレン（7）ヤシ油脂肪酸グリセリン	0.9重量部
ハ	
珪酸塩＊	18重量部
＊詳細は表1に記載する。	

【0011】

【表1】

実施例	珪酸塩	剥離水洗	皮脂除去性
実施例1	カオリン	＋～＋＋	＋～＋＋
実施例2	ベントナイト	＋～＋＋	＋～＋＋
実施例3	含硫珪酸アルミニウム	＋～＋＋	＋～＋＋
実施例4	シリカゲル	＋～＋＋	＋～＋＋
実施例5	タルク	＋～＋＋	＋～＋＋
実施例6	珪酸カルシウム	＋	＋
実施例7	雲母	＋	＋
実施例8	セリサイト	＋	＋
比較例1	酸化亜鉛	－	±
比較例2	二酸化チタン	－	±
比較例3	結晶セルロース	－	－

【0012】＜実施例9＞下記に示す処方に従って、化粧料を作成した。即ち、イ、ロをそれぞれ80℃に加熱し、イにハをディスパーで分散し、これらに徐々にロを加え、攪拌冷却し、泥状の本発明のマトリックスを得た。これを顔型の不織布上に10ミルの厚さにドクターブレードで塗工し、剥離紙を裏打ちし、アルミラミネー

トの包装に密封し、本発明の顔全面用のシート状パックを得た。このものを実施例1～8と同様に剥離・水洗性と皮脂除去性を評価した結果何れの項目も＋＋であった。このことより、本発明のパック料では、無水珪酸、タルク、ベントナイト、含硫珪酸アルミニウム及びカオリンの全てを含有するのが好ましいことがわかる。

イ	
1, 3-ブタンジオール	15重量部
キサンテンガム	0.3重量部
エタノール	0.8重量部
パラベン	0.1重量部
ハマメリスエキス	1重量部
海藻エキス	0.1重量部
ホップエキス	0.1重量部
オトギリソウエキス	0.1重量部
水	57.5重量部
ロ	
セタノール	5.5重量部
ポリオキシエチレン（20）セスキオレート	0.9重量部
ポリオキシエチレン（7）ヤシ油脂肪酸グリセリン	0.9重量部

ハ

ベントナイト

シリカ

含硫珪酸アルミニウム

カオリン

5 重量部

4 重量部

5 重量部

4 重量部

【0013】＜実施例10～13＞下記に示す処方に従って、化粧料を作成した。即ち、イ、ロをそれぞれ80℃に加熱し、イにハをディスパーで分散し、これらに徐々にロを加え、攪拌冷却し、泥状の本発明のマトリックスを得た。これを顔型の不織布上に10ミルの厚さにドクターブレードで塗工し、剥離紙を裏打ちし、アルミラ

ミネートの包装に密封し、本発明の顔全面用のシート状バックを得た。これを上記と同様に剥離・水洗性と皮脂除去性を評価した。結果を表2に示す。これより、珪酸塩の含有量としては1～50重量%が好ましく、更に好ましくは5～25重量%が好ましいことがわかる。

イ

1, 3-ブタンジオール

キサンテンガム

エタノール

パラベン

ハマメリスエキス

海草エキス

ホップエキス

オトギリソウエキス

水**

15 重量部

0.3 重量部

0.8 重量部

0.1 重量部

1 重量部

0.1 重量部

0.1 重量部

0.1 重量部

重量部

ロ

セタノール

ポリオキシエチレン(20)セスキオレート

ポリオキシエチレン(7)ヤシ油脂肪酸グリセリン

ハ

ベントナイト

含硫珪酸アルミニウム**

**詳細は表2に記す。

5.5 重量部

0.9 重量部

0.9 重量部

5 重量部

【0014】

【表2】

	実施例10	実施例11	実施例12	実施例13
水	70.2	55.2	50.5	25.5
含硫珪酸アルミニウム	0	15	20	45
剥離・水洗性 皮膚適合性	+	++~++	++~++	++~++

【0015】＜実施例14＞下記に示す処方に従って、化粧料を作成した。即ち、イ、ロをそれぞれ80℃に加

イ

1, 3-ブタンジオール

キサンテンガム

エタノール

パラベン

ハマメリスエキス

海草エキス

ホップエキス

オトギリソウエキス

水

ロ

15 重量部

0.3 重量部

0.8 重量部

0.1 重量部

1 重量部

0.1 重量部

0.1 重量部

0.1 重量部

57.5 重量部

熱し、イにハをディスパーで分散し、これらに徐々にロを加え、攪拌冷却し、泥状の本発明のマトリックスを得た。これを顔型の不織布上に10ミルの厚さにドクターブレードで塗工し、剥離紙を裏打ちし、アルミラミネートの包装に密封し、本発明の顔全面用のシート状バックを得た。このものを実施例1～8と同様に剥離・水洗性と皮脂除去性を評価した。これらの結果と実施例9よりポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸を含有することが好ましいことがわかる。

セタノール	5.5重量部
ポリオキシエチレン(20)セスキオレート	0.9重量部
親油性界面活性剤***	0.9重量部
ハ	
ベントナイト	5重量部
シリカ	4重量部
含硫珪酸アルミニウム	5重量部
カオリン	4重量部
***詳細は表3に記す。	

【0016】

【表3】

実施例	親油性界面活性剤	耐水性	皮膚適合性
実施例14	POE(7)オレイン酸	+++	+++
実施例15	グリセリンモノオレート	+++	+
実施例16	ジグリセリンモノオレート	+	+++
実施例17	ソルビタンモノオレート	+	+
実施例18	ソルビタンセスキオレート	+	+

【0017】

【発明の効果】本発明によれば、新規機能を有するシート状パックが提供できる。

Bibliographic Fields

Document Identity

(19)【発行国】

日本国特許庁(JP)

(12)【公報種別】

公開特許公報(A)

(11)【公開番号】

特開2000-256162(P2000-256162
A)

(43)【公開日】

平成12年9月19日(2000. 9. 19)

Public Availability

(43)【公開日】

平成12年9月19日(2000. 9. 19)

Technical

(54)【発明の名称】

シート状パック

(51)【国際特許分類第7版】

A61K 7/48

7/00

【FI】

A61K 7/48

7/00 B

J

U

【請求項の数】

8

【出願形態】

OL

【全頁数】

6

【テーマコード(参考)】

4C083

【Fターム(参考)】

4C083 AA112 AB172 AB221 AB222 AB371
AB382 AB431 AB432 AB441 AB442 AC072

(19) [Publication Office]

Japan Patent Office (JP)

(12) [Kind of Document]

Unexamined Patent Publication (A)

(11) [Publication Number of Unexamined Application]

Japan Unexamined Patent Publication 2000 - 256162 (P2000 -
256162A)

(43) [Publication Date of Unexamined Application]

2000 September 19 days (2000.9 . 19)

(43) [Publication Date of Unexamined Application]

2000 September 19 days (2000.9 . 19)

(54) [Title of Invention]

SHEET PACK

(51) [International Patent Classification, 7th Edition]

A61K 7/48

7/00

[FI]

A61K 7/48

7/00 B

J

U

[Number of Claims]

8

[Form of Application]

OL

[Number of Pages in Document]

6

[Theme Code (For Reference)]

4 C083

[F Term (For Reference)]

4 C083 AA112 AB172 AB221 AB222 AB371 AB382 AB4
31 AB432 AB441 AB442 AC072 AC102 AC122 AC402

JP2000256162A

2000-9-19

AC102 AC122 AC402 AC421 AC422 AC442
AC482 AD352 CC07 DD12 EE12

AC421 AC422 AC442 AC482 AD352 CC07 DD12 EE12

Filing

【審査請求】

未請求

(21)【出願番号】

特願平11-56689

(22)【出願日】

平成11年3月4日(1999. 3. 4)

[Request for Examination]

Unrequested

(21) [Application Number]

Japan Patent Application Hei 11 - 56689

(22) [Application Date]

1999 March 4 days (1999.3 . 4)

Parties

Applicants

(71)【出願人】

【識別番号】

000113470

【氏名又は名称】

ポーラ化成工業株式会社

【住所又は居所】

静岡県静岡市弥生町6番48号

(71) [Applicant]

[Identification Number]

000113470

[Name]

POLA CHEMICAL IND INC, (DB 69-069-4856)

[Address]

Shizuoka Prefecture Shizuoka City Yayoi-cho 6-48

Inventors

(72)【発明者】

【氏名】

佐藤 範雄

【住所又は居所】

神奈川県横浜市神奈川区高島台27番地1 ポーラ横浜研究所内

(72) [Inventor]

[Name]

Sato Norio

[Address]

Inside of Kanagawa Prefecture Yokohama City Kanagawa-ku Takashimadai 27 address 1 Pola Yokohama research laboratory

Abstract

(57)【要約】

(修正有)

【課題】

過剰皮脂除去作用と閉塞性による有効成分吸収促進作用を損なわずに、肌からの剥離・水洗性を向上させた新規機能を有するシート状パックを提供する。

【解決手段】

無水珪酸、タルク、ベントナイト、含硫珪酸アルミニウム及びカオリンから選ばれる1種乃至2種である珪酸塩1~50重量%を含有することを特徴

(57) [Abstract]

(There is an amendment.)

[Problems to be Solved by the Invention]

Without impairing active ingredient absorption-promoting action with excess sebum removal effect and occlusive, the exfoliation *water wash behavior from skin sheet pack which possesses novel function which improves is offered.

[Means to Solve the Problems]

anhydrous silicic acid, talc, bentonite (DANA 71.3.1a.1-2), silicate 1~50 weight% which is 1 kind to 2 kinds which is chosen from the sulfur-containing aluminum

とする、シート状パック用のマトリックスを支持体に塗工し貼付剤とする。

Claims

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

珪酸塩 1~50 重量%を含有することを特徴とする、シート状パック用のマトリックス。

【請求項 2】

珪酸塩が無水珪酸、タルク、ベントナイト、含硫珪酸アルミニウム及びカオリンから選ばれる 1 種乃至は 2 種以上であることを特徴とする、請求項 1 に記載のマトリックス。

【請求項 3】

アクリル酸系ポリマーを含有しないことを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載のマトリックス。

【請求項 4】

更に、ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸グリセリンを含有することを特徴とする、請求項 1~3 の何れか一項に記載のマトリックス。

【請求項 5】

請求項 1~4 の何れか一項に記載のマトリックスを支持体上に塗工してなるシート状パック。

【請求項 6】

支持体が不織布であることを特徴とする、請求項 5 に記載のシート状パック。

【請求項 7】

全顔用であることを特徴とする、請求項 5 又は 6 に記載のシート状パック。

【請求項 8】

皮脂除去作用を有することを特徴とする、請求項 5~7 の何れか一項に記載のシート状パック。

Specification

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、パック料に好適な化粧料に関する。

【0002】

【従来の技術】

パック化粧料は、泥状、粘性半流動体、泡状の化粧料組成物を皮膚に塗布し、この閉塞性を利

silicate and kaolin is contained makes feature, it paints the matrix for sheet pack in support and makes tackifier.

[Claim(s)]

[Claim 1]

silicate 1~50 weight% is contained makes feature, matrix. for sheet pack

[Claim 2]

silicate anhydrous silicic acid, talc, bentonite (DANA 71.3.1a.1-2), is one or a plurality of kinds which is chosen from sulfur-containing aluminum silicate and kaolin, matrix. which it makes feature, states in the Claim 1

[Claim 3]

matrix. which acrylate polymer is not contained makes feature, states in Claim 1 or 2

[Claim 4]

Furthermore, polyoxyethylene palmitic acid glycerine is contained makes feature, either of Claim 1~3 matrix. which is stated in one section

[Claim 5]

Either of Claim 1~4 painting matrix which is stated in one section on support, sheet pack. which becomes

[Claim 6]

support is non-woven fabrics, sheet pack. which it makes feature, states in Claim 5

[Claim 7]

It is all for face, sheet pack. which it makes feature, states in Claim 5 or 6

[Claim 8]

It possesses sebum removal effect, it makes feature, either of Claim 5~7 sheet pack. which is stated in one section

[Description of the Invention]

[0001]

[Technological Field of Invention]

this invention regards preferred make-up in pack material.

[0002]

[Prior Art]

When with objective where make-up composition of slush state, viscosity semifluid, foam coating fabric it does pack

用して有効成分の吸収を促進したり、過剰な皮脂などを除去したりする目的で、このような処置の必要性が極めて高くなったときに用いられる。

これは、パックの機能は確かに優れるものの、そのパック動作は決して、気軽にた易くできるものではないからである。

この取り扱い動作を改善したものにシート状パックがあり、シート状パック料は、化粧水などを含浸させた不織布などの支持体を顔に貼り付け、有用な成分を経皮吸収させる含浸タイプや、不織布などの支持体上に粘着性高分子ポリマーを塗工し、過剰な皮脂や角栓等を高分子ポリマーで固着・除去したりする角栓除去タイプのものが既に知られている。

しかしながら、このような機能は、パックの機能の極一部であり、他の機能を有するシート状パックは知られておらず、かかるパック機能の簡便化は図られていないのが現状である。

これは、剤形的な可能性の制限によるものが多く、例えば、ピールオフタイプのパックをシート状に加工しても、その粘着力と経皮吸収性の促進作用等のバランスを取ることは難しいし、泡状パックのシート化は泡の維持が困難であるし、泥状パックはシート状に加工しても、皮膚への延展時の手指の汚れは予防できても、パック剥離・水洗後、泥が残存し易く、結局手間は変わらないためにそのメリットは少ないと信じられていた。

それ故、このようなシート状パック剤形はまだ開発されていなかった。

【0003】

一方、シート状パックに於いて、珪酸塩 1~50 重量%を含有するものは、まだ知られておらず、従って、このようなシート状パックが優れた新規機能を有することも全く知られていなかった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、このような状況下で為されたものであり、新規機能を有するシート状パックを提供することを課題とする。

【0005】

【課題の解決手段】

このような状況に鑑み、本発明者らは、新規機能を有するシート状パックを求めて鋭意研究努力を重ねた結果、珪酸塩 1~50 重量%を含有する

make-up, in skin, promotes absorption of active ingredient making use of this occlusive, removes excessive sebum etc, necessity of this kind of disposal quite becomes high, it is used.

As for this, as for function of pack although certainly it is superior, as for pack operation never, it is with ease, because it is not something which can be made easy.

There is a sheet pack in those which improve this handling operation, the sheet pack material sticks non-woven fabrics or other support which impregnates lotion etc to face, useful component transdermal paints tackiness polymer in impregnation type and on non-woven fabrics or other support, those of follicular horn removal type which it becomes fixed & removes with polymer have already been known excessive sebum and follicular horn etc.

But, as for this kind of function, at extremely portion of function of pack, as for sheet pack which possesses other function it is not known, as for simplification of this pack function fact that it is not assured is present state.

As for this, thing is many with restriction of formulation possibility, processing pack of for example peel off type in sheet, tackiness and taking promoting action or other balance of percutaneous absorptivity are difficult and, making sheet of the foam pack maintenance of bubble is difficult and, as for slush state pack even when processing in sheet, as for soiling of finger when spreading to skin prevention it being possible, After pack exfoliation *water wash, mud is easy to remain, the merit was believed because labor does not change after all that it is little.

Therefore, this kind of sheet pack shape was not developed still.

【0003】

On one hand, regarding to sheet pack, those which contain silicate 1~50 weight% were not still known, therefore, it was not known completely that it possesses novel function where this kind of sheet pack is superior.

【0004】

【Problems to be Solved by the Invention】

As for this invention, being something which under this kind of status can be done, it offers sheet pack which possesses novel function it makes problem.

【0005】

【Means to Solve the Problems】

sheet pack where you consider to this kind of status, as for these inventors, seeking sheet pack which possesses novel function, it contains the silicate 1~50 weight% designates

ことを特徴とする、シート状パック用のマトリックスを不織布などの支持体上に塗工したシート状パックが、泥状パックの過剰皮脂除去作用と閉塞性による有効成分吸収促進作用を兼ね備えた特性を有しているにも関わらず、その剥離・水洗性に優れ、シート状パックを剥離・水洗した後も殆どマトリックス残存しないことを見出し、発明を完成させるに至った。

以下、本発明について、実施の形態を中心に詳細に説明を加える。

【0006】

【発明に実施の形態】(1)本発明のシート状パック用のマトリックス

本発明のシート状パック用のマトリックスは珪酸塩 1~50 重量%、更に好ましくは 5~25 重量%を含有することを特徴とする。

これは、珪酸塩をこの配合範囲に制御することにより、泥パックの有している、過剰皮脂除去作用と閉塞性による有効成分吸収促進作用を損なわずに、肌からの剥離・水洗性を向上させ、シート状パックを剥離・水洗しても、パックのマトリックスが肌上に残存しないように出来るからである。

即ち、この量より少ないと、閉塞性や皮脂吸収性が発揮できない場合があり、この量を越すと肌残存率が多くなり、シート状に加工したメリットが現れない場合があるからである。

ここで、本発明で言う珪酸塩とは、水不溶性の珪酸塩であって化粧料などの分野で使用されるものを意味し、例えば、タルク、カオリン、雲母、ベントナイト、珪酸マグネシウム、珪酸カルシウム、無水珪酸、珪酸アルミニウム、含硫珪酸アルミニウムなどが例示でき、これらの中では、無水珪酸、タルク、ベントナイト、含硫珪酸アルミニウム及びカオリンから選ばれる 1 種乃至は 2 種以上であることが好ましく、含硫珪酸アルミニウムを含有することが更に好ましい。

この含硫珪酸アルミニウムとしては、海藻由来の海泥化石を乾燥・粉碎したものが好ましく、「ミロネクトン」の商品名で大日本化成株式会社より市販されているものが市販品の中では好ましい。

このものの含硫率は約 1%である。

これら珪酸塩は何れも化粧料の汎用原料であり、その入手に問題はない。

result of repeating diligent research effort, as feature, painted matrix for sheet pack on non-woven fabrics or other support, has had the characteristic which holds active ingredient absorption-promoting action with excess sebum removal effect and occlusive of slush state pack relation, It is superior in exfoliation *water wash behavior, exfoliation *water wash after doing sheet pack, almost matrix it does not remain to discover, invention it reached to completion.

Below, concerning this invention, embodiment explanation is added to the center in detail.

【0006】

matrix for sheet pack of {In invention embodiment } (1) this invention

matrix for sheet pack of this invention silicate 1~50 weight%, furthermore contains preferably 5~25 weight% makes feature.

mud pack it has possessed this, by controlling silicate in this blend range, without impairing active ingredient absorption-promoting action with excess sebum removal effect and occlusive, the exfoliation *water wash behavior from skin improving, exfoliation *water wash doing sheet pack, in order for matrix of pack not to remain on skin, because it is possible.

Namely, when it is less than this quantity, there to be times when you cannot show occlusive and sebum absorbancy, when this quantity is crossed over, skin residue ratio to become many, because there are times when merit which is processed in sheet does not appear.

Here, silicate as it is called in this invention, for example talc, kaolin, mica, bentonite (DANA 71.3.1a.1-2), be able to mean those which with water insoluble silicate can be used with make-up or other field, be able to illustrate magnesium silicate, calcium silicate, anhydrous silicic acid, aluminum silicate, sulfur-containing aluminum silicate etc, among these, anhydrous silicic acid, talc, bentonite (DANA 71.3.1a.1-2), it is a one or a plurality of kinds which is chosen from sulfur-containing aluminum silicate and kaolin, it is desirable, contains sulfur-containing aluminum silicate furthermore it is desirable.

As this sulfur-containing aluminum silicate, those which it dries & pulverizes ocean mud fossil of seaweed derivation are desirable, with tradename of "ミロネクトン" those which are marketed in commercial product are desirable from main transformation corporation of Dainichi.

This sulfur-containing ratio approximately is 1%.

As for these silicate none with general-purpose starting material of make-up, is a problem in procurement.

[0007]

本発明のマトリックスに於いては、上記必須成分である珪酸塩以外に、化粧料で通常使用されている任意成分を、本発明の効果を損なわない範囲に於いて、含有することが出来る。

かかる任意成分としては、例えば、ワセリンやマイクロクリスタリンワックス等のような炭化水素類、ホホバ油やゲイロウ等のエステル類、牛脂、オリーブ油等のトリグリセリド類、セタノール、オレイルアルコール等の高級アルコール類、ステアリン酸、オレイン酸等の脂肪酸、グリセリンや、1,3-ブタンジオール等の多価アルコール類、非イオン界面活性剤、アニオン界面活性剤、カチオン界面活性剤、両性界面活性剤、エタノール、カーボポール等の増粘剤、防腐剤、紫外線吸収剤、抗酸化剤、色素、粉体類等が例示できる。

この中では、皮脂の除去性とマトリックスの剥離・水洗性を向上させる理由から、ポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸グリセリンを含有することが好ましい。

このもののポリオキシエチレンの付加モル数としては、5~10 が好ましく、このもの含有量としては、0.1~3 重量%が好ましい。

これはこの範囲のものが、皮脂の除去性とマトリックスの剥離・水洗性に特に好ましい作用を発揮するからである。

又、パックの製剤の特徴から、ビタミン類、美白剤、細胞賦活剤、美肌成分などの有効成分も含有でき、この様な有効成分を含有することが好ましい。

本発明のマトリックスの特徴が珪酸塩を含有することから、有効成分としては、この様な成分と調和して効果を発揮する有効成分が好ましく、例えば、ハママリスエキス、ホップエキス、オトギリソウエキス(ヨハニスクロイターエキス)等の各種ハーブエキスや海藻エキスが好ましく例示できる。

又、通常パック料に於いては、ポリアクリル酸ナトリウム、ポリメタクリル酸ナトリウム、アクリル酸・メタクリル酸アルキルコポリマー及び/又はその塩等のアクリル酸系ポリマーは、マトリックスの残存率を上げることが多いので含有しないことが特に好ましい。

更に、通常のオイル類も含有しない方が好ましい。

[0007]

Regarding to matrix of this invention, other than silicate which is an above-mentioned essential ingredient, it contains it is possible option component which is usually used with make-up, at time of range which does not impair effect of this invention.

As this option component, for example vaseline and microcrystalline wax or other hydrocarbons, jojoba oil and gay wax or other esters, tallow, olive oil or other triglyceride, cetanol, oleyl alcohol or other higher alcohol, stearic acid, oleic acid or other aliphatic acid, glycerine and 1 and 3 -butanediol or other polyhydric alcohol, nonionic surfactant, anionic surfactant, cationic surfactant, amphoteric surfactant, ethanol, Carbopol or other thickener, antiseptic, ultraviolet absorber, antioxidant, dye, powder it can illustrate type etc.

Among these, removability of sebum and exfoliation *water wash behavior of the matrix from reason which improves, polyoxyethylene palmitic acid glycerine is contained is desirable.

As number of moles added of this polyoxyethylene, 5 - 10 is desirable, 0.1 - 3 wt% are desirable as this content.

Because as for this those of this range, especially show desirable action in removability of sebum and exfoliation *water wash behavior of the matrix.

From formulational feature of also, pack, be able to contain vitamin and also skin whitener, cell activator, beautiful skin component or other active ingredient, this kind of active ingredient is contained is desirable.

Agreeing with this kind of component from fact that feature of the matrix of this invention contains silicate, as active ingredient, the active ingredient which shows effect is desirable, can illustrate for example hamamelis extract, Humulus lupulus L. extract, Guttiferae extract (jp15 Hamamishu Roy tar extract) or other various herb extract and seaweed extract desirably.

also, regarding to pack material usually, salt or other acrylate polymer of sodium polyacrylate, sodium polymethacrylate, acrylic acid * alkyl methacrylate copolymer and/or increases residue ratio of matrix, because is many, it does not contain especially it is desirable.

Furthermore, one where either conventional oil do not contain is desirable.

本発明のマトリクスは、この様な成分を常法に従って処理することにより製造できる。

【0008】

(2)本発明のバック料

本発明のバック料は、上記シート状バック用のマトリクスを支持体上に塗工したシート状バックであることを特徴とする。

本発明のバック料で利用できる支持体としては、シート状バック料で使用されているものであれば特段の限定なく使用することが出来、例えば、リント布、リネン、木綿などの布類、ポリエチレンテレフタレートシートや塩化ビニルシート等のポリマーシート、不織布などが例示できる。

これらの中では、マトリクス配向性の点で不織布が特に好ましい。

即ち、マトリクスが支持体である不織布と親和性が高いため、顔にシート状バックを貼付して剥離・水洗しても、顔の方にマトリクスが残りにくいからである。

マトリクスの支持体上への塗工手段は、通常知られている方法に従って行えば良く、例えば、支持体上ヘドクターブレード等を使用して塗工することが例示できる。

この時、好ましい塗工厚は 0.1~100 ミルである。

更に、本発明のシート状バックとしては、顔の一部に貼付する部分貼付型のものも、顔全面に貼付するものも利用できる、このうち、特に好ましいものは顔全面に貼付するタイプのものである。

これは、本発明のバックの効果に有効成分の吸収促進が含まれており、この様な効果は、顔の全面に好適な効果であるためである。

【0009】

【実施例】

以下に、実施例を示して本発明について更に詳細に説明を加えるが、本発明が、これら実施例にのみ限定を受けないことは言うまでもない。

【0010】

下記に示す処方に従って、化粧料を作成した。

即ち、イ、ロをそれぞれ 80 deg C に加熱し、イにハをディスパーで分散し、これらに徐々にロを加

Following this kind of component to conventional method, it can produce matrix of this invention, by treating.

[0008]

pack material of (2) this invention

pack material of this invention is sheet pack which painted matrix for the above-mentioned sheet pack on support, it makes feature.

If it is something which is used with sheet pack material as support which can be used with pack material of this invention, uses without limitation of the special step to be possible, it can illustrate for example lint fabric, linen, cotton or other fabric, the polyethylene terephthalate sheet and vinyl chloride sheet or other polymer sheet, non-woven fabrics etc.

Among these, non-woven fabrics especially is desirable in point of the matrix orientation.

Namely, because non-woven fabrics and affinity where matrix is support are high, sticking sheet pack in face, exfoliation *water wash doing, because in face matrix is difficult to remain.

coating means to on support of matrix following to method which usually is known, if it does, is good, using doctor blade etc to on the for example support, paints can illustrate.

This time, desirable paint thickness is 0.1 - 100 mill.

Furthermore, it can utilize those of portion sticking type which is stuck in portion of face as sheet pack of this invention, and those which are stuck in face entire surface, among these, especially desirable ones are something of type which is stuck in face entire surface.

As for this, absorption promotion of active ingredient is included by the effect of pack of this invention, this kind of effect, is because it is a preferred effect in entire surface of face.

[0009]

[Working Example(s)]

Below, showing Working Example, furthermore it adds explanation in detail, concerning this invention, but this invention, does not receive limitation to only these Working Example.

[0010]

<Working Example 1~8> following to formulation which is shown on description below, it drew up make-up.

Namely, it heated I and Ro to 80 deg C respectively, to I dispersed Hawith disperser, in these it agitated it cooled

え、攪拌冷却し、泥状の本発明のマトリックスを得た。

これを顔型の不織布上に 10 ミルの厚さにドクターブレードで塗工し、剥離紙を裏打ちし、アルミラミネートの包装に密封し、本発明の顔全面用のシート状パックを得た。

この本発明のパックを用いて、専門パネラーにより、剥離・水洗性(顔への残存量の少なさ)と過剰な皮脂の除去性を、++:非常によい、+:良い、±:やや良い、-:悪いの基準で判定した。

比較例 1 として、実施例 1 のカオリンを酸化亜鉛に置換したもの、比較例 2 として、実施例 1 のカオリンを二酸化チタンに置換したものを、比較例 3 として、実施例 1 のカオリンを結晶セルロースに置換したものを作成し同様に評価した。

結果を表 1 に示す。

これより、本発明のシート状パックが前述の如く優れた作用を有していること、及びこの作用が珪酸塩に由来すること、珪酸塩としては無水珪酸、タルク、ベントナイト、含硫珪酸アルミニウム及びカオリンが好ましいことがわかる。

イ

1,3-ブタンジオール 15 重量部

キサンテンガム 0.3 重量部

エタノール 0.8 重量部

パラベン 0.1 重量部

ハママリスエキス 1 重量部

海藻エキス 0.1 重量部

ホップエキス 0.1 重量部

including Ro gradually, acquired matrix of this invention of slush state.

This on non-woven fabrics of face type in thickness of 10 mill it painted with doctor blade, lining did release paper, sealed up in packing aluminum laminating, acquired sheet pack for face entire surface of this invention.

Making use of pack of this this invention, due to expert panel member, the exfoliation *water wash behavior (residual amount to face it is little) with removability of excessive sebum, ++: it is very good, +: it is good, +/-: it is a little good, -: it is bad it decided with reference.

As Comparative Example 1, those which substitute kaolin of Working Example 1 in the zinc oxide. And it drew up those which substitute kaolin of Working Example 1 in the crystalline cellulose as Comparative Example 2, with those which substitute kaolin of Working Example 1 in titanium dioxide, as Comparative Example 3, evaluation did in same way.

Result is shown in Table 1.

As though from this, sheet pack of this invention is earlier description, it has possessed action which is superior, and at this action derives in silicate, anhydrous silicic acid, talc, bentonite (DANA 71.3.1a.1-2), sulfur-containing aluminum silicate and kaolin are desirable as silicate understands.

I

1 and 3 -butanediol 15 parts by weight

xanthene gum 0.3 parts by weight

ethanol 0.8 parts by weight

paraben 0.1 weight section

hamamelis extract 1 part by weight

seaweed extract 0.1 weight section

Humulus lupulus L. extract 0.1 weight section

オトギリソウエキス																			0.1 重量部
Guttiferae extract																			0.1 weight sections
水	口																		57.5 重量部
Water Ro																			57.5 parts by weight
セタノール																			5.5 重量部

cetanol																		5.5 parts by weight
ポリオキシエチレン(20)セスキオレート																	0.9重量部
polyoxyethylene	20) sesqui oleate																	0.9 parts by weight
ポリオキシエチレン(ハ	7)ヤシ油脂脂肪酸グリセリ																	0.9重量部
Ha polyoxyethylene	7) palmitic acid グ jp9 Oenanth (dropwort)																	0.9 parts by weight
珪酸塩 *																		18 重量部
silicate*																		18 parts by weight
* 詳細は表	に	記	載	す	る													
* As for details chart	To	Description	Hajime	It does	る													

[0011]

[0011]

[表 1]

[Table 1]

実施例	珪酸塩	剥離水洗	皮脂除去性
実施例 1	カオリン	+~++	+~++
実施例 2	ベントナイト	+~++	+~++
実施例 3	含水珪酸アルミニウム	+~++	+~++
実施例 4	シリカゲル	+~++	+~++
実施例 5	タルク	+~++	+~++
実施例 6	珪酸カルシウム	+	+
実施例 7	雲母	+	+
実施例 8	セリサイト	+	+
比較例 1	酸化亜鉛	-	±
比較例 2	二酸化チタン	-	±
比較例 3	結晶セルロース	-	-

【0012】

下記に示す処方に従って、化粧料を作成した。

即ち、イ、ロをそれぞれ 80 deg C に加熱し、イにハをディスペーで分散し、これらに徐々にロを加え、攪拌冷却し、泥状の本発明のマトリックスを得た。

これを顔型の不織布上に 10 ミルの厚さにドクターブレードで塗工し、剥離紙を裏打ちし、アルミラミネートの包装に密封し、本発明の顔全面用のシート状パックを得た。

このものを実施例 1~8 と同様に剥離・水洗性と皮脂除去性を評価した結果何れの項目も++であった。

このことより、本発明のパック料では、無水珪酸、タルク、ベントナイト、含硫珪酸アルミニウム及びカオリンの全てを含有するのが好ましいことがわかる。

イ

1,3-ブタンジオール 15 重量部

キサンテンガム 0.3 重量部

エタノール 0.8 重量部

パラベン 0.1 重量部

ハママリスエキス 1 重量部

海藻エキス 0.1 重量部

ホップエキス 0.1 重量部

オトギリソウエキス 0.1 重量部

水 57.5 重量部

ロ

セタノール 5.5 重量部

ポリオキシエチレン(20)セスキオレート 0.9 重量部

ポリオキシエチレン(7)ヤシ油脂肪酸グリセリン 0.9 重量部

【0012】

<Working Example 9>

Following to formulation which is shown on description below, it drew up make-up.

*Namely, it heated I and Ro to 80 deg C respectively, to I dispersed Hawith disperser, in these it agitated it cooled including Ro gradually, acquired matrix of this invention of slush state.

This on non-woven fabrics of face type in thickness of 10 mill it painted with doctor blade, lining did release paper, sealed up in packing aluminum laminating, acquired sheet pack for face entire surface of this invention.

This in same way as Working Example 1~8 result each item which the exfoliation *water wash behavior and sebum removability evaluation is done was ++.

From this, with pack material of this invention, anhydrous silicic acid, talc, bentonite (DANA 71.3.1a.1-2), it is desirable to contain all of sulfur-containing aluminum silicate and kaolin, understands.

I

1 and 3 -butanediol 15 parts by weight

xanthene gum 0.3 parts by weight

ethanol 0.8 parts by weight

paraben 0.1 weight section

hamamelis extract 1 part by weight

seaweed extract 0.1 weight section

Humulus lupulus L. extract 0.1 weight section

Guttiferae extract 0.1 weight section

Water 57.5 parts by weight

Ro

cetanol 5.5 parts by weight

polyoxyethylene (20) sesqui oleate 0.9 parts by weight

polyoxyethylene (7) palmitic acid glycerine 0.9 parts by weight

ハ					
Ha					
ベントナイト			5		重量部

bentonite (DANA 71.3.1a.1-2)				5	parts by weight
シリカ				4	重量部
silica				4	parts by weight
含硫珪酸アルミニウム				5	重量部
sulfur-containing aluminum silicate ニウ				5	parts by weight
カオリン				4	重量部
kaolin				4	parts by weight

【0013】

下記に示す処方に従って、化粧料を作成した。

即ち、イ、ロをそれぞれ 80 deg C に加熱し、イにハをディスパーで分散し、これらに徐々にロを加え、攪拌冷却し、泥状の本発明のマトリックスを得た。

これを顔型の不織布上に 10 ミルの厚さにドクターブレードで塗工し、剥離紙を裏打ちし、アルミラミネートの包装に密封し、本発明の顔全面用のシート状パックを得た。

これを上記と同様に剥離・水洗性と皮脂除去性を評価した。

結果を表 2 に示す。

これより、珪酸塩の含有量としては 1~50 重量% が好ましく、更に好ましくは 5~25 重量% が好ましいことがわかる。

[0013]

<Working Example 10~13> following to formulation which is shown on description below, it drew up make-up.

Namely, it heated I and Ro to 80 deg C respectively, to I dispersed Hawith disperser, in these it agitated it cooled including Ro gradually, acquired matrix of this invention of slush state.

This on non-woven fabrics of face type in thickness of 10 mill it painted with doctor blade, lining did release paper, sealed up in packing aluminum laminating, acquired sheet pack for face entire surface of this invention.

This exfoliation *water wash behavior and sebum removability evaluation were done in the same way as description above.

Result is shown in Table 2.

1 - 50 weight% are desirable from this, as content of silicate, furthermore preferably 5~25 weight% is desirable, understands.

イ															
I															
1, 3-ブタンジオール											5		重量部		
1 and 3 -butanediol											5		parts by weight		
キサンテンガム											0.3	重量部			
xanthene gum											0.3	parts by weight			
エタノール											0.8	重量部			

ethanol										0.8 parts by weight
パラベン										0.1 重量部
paraben										0.1 weight sections
ハマメリスエキス									1	重量部
hamamelis extract									1	parts by weight
海藻エキス										0.1 重量部
seaweed extract										0.1 weight sections
ホップエキス										0.1 重量部
Humulus lupulus L. extract										0.1 weight sections
オトギリソウエキス										0.1 重量部
Guttiferae extract										0.1 weight sections
水 * * □										重量部
Water ** Ro										parts by weight
セタノール										5.5 重量部
cetanol										5.5 parts by weight
ポリオキシエチレン(20)セスキオ										0.9 重量部
polyoxyethylene (20) sesqui オ										0.9 parts by weight
ポリオキシエチレン(7)ヤシ油脂肪酸グリセリン 0.9重量部ハ										
polyoxyethylene (7) palmitic acid glycerine 0.9 parts by weight Ha										
ベントナイト									5	重量部
bentonite (DANA 71.3.1a.1-2)									5	parts by weight
含硫珪酸アルミニウム * *										
sulfur-containing aluminum silicate**										
* * 詳細は表2	に									

As for ** details Table 2

To

【0014】

[0014]

【表 2】

[Table 2]

	実施例10	実施例11	実施例12	実施例13
水	70.2	55.2	60.5	25.5
含塩珪酸アルミニウム	0	15	20	45
剥離・水洗性	+	+++	+++	++
皮脂除去性	+	+++	+++	+++

【0015】

[0015]

下記に示す処方に従って、化粧料を作成した。

<Working Example 14>

Following to formulation which is shown on description below, it drew up make-up.

即ち、イ、ロをそれぞれ 80 deg C に加熱し、イにハをディスパーで分散し、これらに徐々にロを加え、攪拌冷却し、泥状の本発明のマトリックスを得た。

Namely, it heated I and Ro to 80 deg C respectively, to I dispersed Hawith disperser, in these it agitated it cooled including Ro gradually, acquired matrix of this invention of slush state.

これを顔型の不織布上に 10 ミルの厚さにドクターブレードで塗工し、剥離紙を裏打ちし、アルミラミネートの包装に密封し、本発明の顔全面用のシート状パックを得た。

This on non-woven fabrics of face type in thickness of 10 mill it painted with doctor blade, lining did release paper, sealed up in packing aluminum laminating, acquired sheet pack for face entire surface of this invention.

このものを実施例 1~8 と同様に剥離・水洗性と皮脂除去性を評価した。

This exfoliation *water wash behavior and sebum removability evaluation were done in the same way as Working Example 1~8.

これらの結果と実施例 9 よりポリオキシエチレンヤシ油脂肪酸を含有することが好ましいことがわかる。

polyoxyethylene palmitic acid is contained from these results and Working Example 9 is desirable, understands.

イ

I

1,3-ブタンジオール 15 重量部

1 and 3 -butanediol 15 parts by weight

キシサテンガム 0.3 重量部

xanthene gum 0.3 parts by weight

エタノール 0.8 重量部

ethanol 0.8 parts by weight

パラベン 0.1 重量部

paraben 0.1 weight section

ハママリスエキス 1 重量部

hamamelis extract 1 part by weight

海藻エキス 0.1 重量部

seaweed extract 0.1 weight section

ホップエキス 0.1 重量部

Humulus lupulus L. extract 0.1 weight section

オトギリソウエキス 0.1 重量部

Guttiferae extract 0.1 weight section

水 57.5 重量部

Water 57.5 parts by weight

ロ

Ro

セタノール

5.5 重量部

cetanol									5.5 parts by weight
ポリオキシエチレン(20)セスキオレート									0.9重量部
polyoxyethylene (20) sesqui oleate									0.9 parts by weight
親油性界面活性剤***ハ									0.9重量部
lipophilic detergent*** Ha									0.9 parts by weight
ベントナイト								5	重量部
bentonite (DANA 71.3.1a.1-2)								5	parts by weight
シリカ								4	重量部
silica								4	parts by weight
含硫珪酸アルミニウム								5	重量部
sulfur-containing aluminum silicate								5	parts by weight
カオリン								4	重量部
kaolin								4	parts by weight
*** 詳細は表3に記す									
*** details in Table 3 inscribe									

【0016】

[0016]

【表 3】

[Table 3]

実施例	親油性界面活性剤	親水性部	疎水性部
実施例14	POE (7) オレイン酸	+++	+++
実施例15	グリセリンモノオレート	+++	+
実施例16	ジグリセリンモノオレート	+	+++
実施例17	ソルビタンモノオレート	+	+
実施例18	ソルビタンセスキオレート	+	+

【0017】

[0017]

【発明の効果】

[Effects of the Invention]

本発明によれば、新規機能を有するシート状パックが提供できる。

According to this invention, it can offer sheet pack which possesses novel function.

SHEETLIKE PACK

Patent number: JP2000256162
Publication date: 2000-09-19
Inventor: SATO NORIO
Applicant: POLA CHEM IND INC
Classification:
- International: A61K7/48; A61K7/00
- european:
Application number: JP19990056689 19990304
Priority number(s): JP19990056689 19990304

[Report a data error here](#)

Abstract of JP2000256162

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a matrix for a sheetlike pack having a new function of improved release from the skin/water washing properties without impairing absorption promotion action of active ingredient by excessive sebum removing action and closure by making the matrix include a specific amount of a silicate. **SOLUTION:** This matrix contains 1-50 wt.%, preferably 5-25 wt.% of a silicate (preferably one or more selected from silicic anhydride, talc, bentonite, sulfur-containing aluminum silicate and kaolin). Preferably the matrix contains 0.1-3 wt.% of a polyoxyethylene coconut oil fatty acid glycerol (preferably one having 5-10 number of addition mols). Preferably the matrix contains no acrylic acid-based polymer. The matrix comprising the component is coated on a substrate such as a nonwoven fabric to give a sheetlike pack.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide